

## 令和4年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立黒島小中学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 56-2005			氏名	神浦 大介 大束 康治
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	個人情報保護と情報セキュリティ対策を徹底しよう 児童生徒理解を深め、体罰を根絶しよう 働きやすい職場をつくろう わいせつ行為、ハラスメントを防止しよう			
取組の評価・改善点					
【評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>自己分析シートを活用したわいせつ行為・ハラスメント防止研修会を実施し、全職員に徹底することができた。小グループで「スローガン」を作成し、職員室へ掲示することで不祥事防止への意識が高まった。</li> <li>どのような行為が体罰にあたるのかを事例を用いて職員に指導したり、アンガーマネジメントについて研修を行ったりするなど、体罰防止について指導の徹底を図ることができた。</li> <li>USBメモリのウイルスチェックの確認をはじめ、SNS等による具体的な情報漏洩の事例紹介等も随時行い、情報セキュリティについて職員の意識の向上を図ることができた。</li> <li>期限を意識した計画的な業務遂行と月の時間外労働時間を職員に意識化させることで、時間外労働の時間短縮を図ることができた。</li> </ul>					
【改善点】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の意識の高まりが服務規律の徹底には重要であるため、今後も年間を通して、職員朝会をはじめ機会を捉えながら、繰り返し呼びかけを行っていくようにする。</li> </ul>					
7月	実施テーマ	飲酒・酒気帯び運転を根絶しよう 成績等の個人情報の管理を徹底しよう			
取組の評価・改善点					
【評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の飲酒運転の摘発や事故等の事例を紹介し、飲酒運転根絶を呼びかけることで、職員の意識を高めることができた。</li> <li>市の情報セキュリティ研修動画や、校内情報セキュリティ責任者による研修の実施により、校内の情報セキュリティについて再度確認・点検を実施し、教職員の情報管理意識を高めることができた。</li> </ul>					
【改善点】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティについては、今後も定期的に点検・確認を行い、更なる管理・徹底を行っていくようにする。</li> </ul>					
12月	実施テーマ	飲酒・酒気帯び運転を根絶しよう 成績等の個人情報の管理を徹底しよう			
取組の評価・改善点					
【評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故防止と不祥事防止の情報提供や呼びかけを随時行い、職員の意識が向上した。</li> <li>ロールプレイやグループ討議を取り入れることで児童生徒理解が深まり、職場として積極的生徒指導推進への気運が高まった。</li> <li>USBの使い方、情報資産の捉え方など具体的に情報共有・意見交換ができた。</li> </ul>					
【改善点】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員としての言動については、高い倫理規範が社会から求められている。現在、新型コロナウイルス感染症の流行は落ち着きを見せているものの、依然として教職員として</li> </ul>					

時と場に応じた言動が市民より厳しく求められていることから、今後も教育委員会通知等を十分活用し、職員の意識向上を図る。

## 2 服務規律委員会

委員会名	黒島小中学校服務規律委員会
構成員	所属内委員（8名 構成員：校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・保健主事） 外部委員（3名 役職等：育友会会長・学校評議員）

## 3 年間を通しての計画の達成状況

### 年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	エ	オ	キ	ク	ケ	コ			
---	---	---	---	---	---	---	--	--	--

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）  
不祥事根絶をテーマに、グループでスローガンを作り、ラミネートして職員室に掲示し、意識を高めている。

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。  
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった
--------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった
--------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 不十分だった	<input type="radio"/> 実施していない
--------------------------------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------

資料添付

有

無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

### 【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。
- ウ 外部講師を招いての講話
- エ 体験的な研修
  - ・ロールプレイを取り入れる。
- オ グループ討議
  - ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
  - ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。
- カ ワークシートの作成
  - ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。
- キ チェックリストを作成
  - ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。
- ク ファイリングして保存
  - ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。
- ケ 決意表明
  - ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。
- コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
  - ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。